

新着図書紹介



『夏の騎士』 百田尚樹 著

昭和最後の夏、騎士団を結成した友人2人の謎をめぐる冒険、友情、そして小さな恋を描く。

『思い出が消えないうちに』 川口俊和 著

心に閉じ込めた思い出を輝かせるために、不思議な喫茶店で過去に戻る4人の物語。

『水辺のブッダ』 ドリアン助川 著

世の中の片隅で懸命に生きる人々を、『あん』の著者が魂をこめて描く。

『宝島 HERO' s ISLAND』 真藤順文 著

固い絆で結ばれた幼馴染三人が、同じ夢に向かって立ち上がる、青春と革命の叙事詩。直木賞受賞。

『注文の多い注文書』 小川洋子、クラフト・エヴィング商會 著

現実と架空が入り混じる世界で、2組の作家が想像力の火花を散らし、小説の登場品物を探索する。

『白銀の（しろがね）の墟 玄（くろ）の月 1～4』 小野不由美 著

十二国記シリーズ、18年ぶりの書き下ろし新作！新たな旅が始まる。

『黄金の王 白銀の王』 沢村凜 著

仇同士でありながら、義兄弟の契りをむすぶ二人の王。一国の未来をめぐる歴史ファンタジー。

『高校サッカーボーイズ U-18』 はらだみずき 著

高校3年、ラストシーズンにピッチで輝くことができるのか。スポーツ青春小説。

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』 プレイティみかこ 著

イギリスの底辺中学校にかよう思春期まっさかりの息子とパンクな母親の、「親子の成長物語」。

図書委員会活動より

図書館講座

11月18日、病と向き合いながら、短歌などの創作活動を続けている方を講師に「プラスへの変換力～病と向き合う創作」というテーマで図書館講座を開催しました。詩集を出版し、「はがき歌全国コンテスト」で審査員特別賞を受賞したお話や、高校時代に病に苦しみながら保健室や図書館で過ごし、マイナスをプラスに変換していった姿勢は、とても共感できる内容でした。校内だけではなく、広く地域の方にも呼びかけ、一般の方6人を含む40人の参加がありました。



図書委員交流会

12月18日、能代松陽高校図書委員5名が来校し、図書委員交流会を行いました。お互いの活動を紹介し合い、班に分かれてミニビブリオを行い、交流を深めました。スタンプカードを使った本の貸出や百人一首大会などを行う図書館講座など、取り入れたいと思う活動がありました。「初めて会った人で学年も違うのに、本を通じて仲良くなることができてよかった。」(1年 T.M)

